

外科

1) 診療科紹介

消化器外科を中心に年間441例の手術症例があり外科専門医を目指すものに最適の環境である。平成21年度は、胃癌43例・食道癌2例・膵癌6例・肝切除2例・結腸・直腸癌60例（うち腹腔鏡下手術26例）・胆嚢摘出52例（うち腹腔鏡下手術48例）・乳癌2例・肛門20例・鼠径ヘルニア50例・大腿ヘルニア3例・虫垂切除49例・腹壁癒痕ヘルニア3例・イレウス17例などの手術を施行している。

2) 関連学会

日本外科学会 <http://www.jssoc.or.jp/>

日本消化器外科学会 <http://www.jsogs.or.jp/>

3) 施設認定・指導医・専門医

外科専門医制度修練関連施設：2010年1月1日～2010年12月31日

薄井 裕治：外科学会指導医・消化器外科学会指導医

佐藤 文平：外科学会専門医・消化器外科学会専門医

李 正煜：外科学会専門医・消化器外科学会専門医

川島 和彦：外科学会専門医

4) 関連学会の専門医受験資格

外科専門医の認定について

- ・ 修練開始後満4年以上経た段階で予備試験（筆記試験）予備試験合格後、修練開始後満5年以上経て、規定の修練をすべて経験した段階で認定試験（面接試験）、面接試験受験申請時には外科学会員であること。
- ・ 認定試験合格後、外科専門医として認定される。
- ・ 詳細は日本外科学会のホームページにアクセスしてください。

5) 関連学会が定めた研修カリキュラム

外科専門医の認定を希望するものは修練実施計画を、外科学会ホームページにアクセスし、修練実施計画を登録すること。カリキュラムは外科学会が推奨する診療経験（手術症例）を3年以内に達成できるよう編成する。

6) 後期研修の目標

研修カリキュラムに沿って研修実績を着実に積み、修練開始後3年以内に予備試験を受験できる資格を得ること。

7) 目標達成のための戦略の特徴

一人の研修医を複数の医師（臨床経験 15 年以上の外科医 4 名）で指導する。初歩的な外科テクニックから専門的なテクニックまで段階的に修練できるよう配慮する。どの医療現場でも通じるような基本的手術手技を身につけることが出来る。緊急手術・待機手術の症例は豊富で、そこより得られる成果は必ずや前途有望な外科専門医を育てるであろう。基本的に手術は主治医執刀制であり、手術手技以外にも ICU 管理、化学療法なども修練する。

また、外科的手技はもちろんのことであるが、病気だけでなく患者様を診る外科医に育って欲しい。

8) 年度ごとの研修<後期外科系コース>

下記のように年次的執刀を予定する

- ・1 年次: 外来小外科・ヘルニア根治術・虫垂切除、腸閉塞（腹腔鏡手術を含む）
- ・2 年次: 腹腔鏡下胆嚢摘出術・消化管穿孔・結腸切除
- ・3 年次: 胃切除術・直腸切除・腹腔鏡下結腸切除術

9) 大学医局との関連

京都大学外科学教室と臨床交流

京都大学外科交流センター (<http://www.kyoto-u-sa.or.jp/>) を通じて人事交流が可能

10) 将来の進路

- ・武田病院グループの病院でスタッフとして勤務できる
- ・大学院進学
- ・京都大学外科交流センターを通じて、関連施設（京都大学、武田病院グループ、京都市立病院、神戸市民病院など西日本の数十の病院、HP 参照）に斡旋が可能

11) 研修問い合わせ先

医療法人財団康生会 武田病院 臨床研修委員会

電子メール・アドレス: info@takedahp.or.jp